こどもを中心としたまちづくりの推進に向けた市条例に関するアンケート調査　結果報告書

水戸市こども部こども政策課

令和８年 11 月

目次

第１章　調査の概要
第２章　回答者の属性
第３章　調査結果
第４章　調査結果のまとめ
資料編

第１章　調査の概要

１　調査の目的

本調査は、こどもを中心としたまちづくりの推進に向けた市条例（以下「本条例」という。）の制定に当たり、その内容を検討する基礎資料とするため、本条例による施策の当事者となるこども及び保護者の意識、日々の生活実感等を把握することを目的として実施したものである。

２　調査の対象及び方法

1）　アンケート種類

４種（未就学児の保護者向け、小学生向け、中学生向け、高校生向け）

2）　実施期間

令和８年８月 27 日から同年９月 30 日まで

3）　対象者

次のいずれかに該当する方を対象者とした。

ア　本市に居住する小学生、中学生又は高校生（高校生ではないが高校生年代である者を含む。）

イ　本市に所在する小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校に通学し、又は児童養護施設に入所している小学生、中学生又は高校生（高校生ではないが高校生年代である者を含む。）

ウ　本市に居住する保護者で、未就学児を養育している方

エ　本市に所在する幼稚園、保育所又は認定こども園に通園し、又は通所している未就学児を養育している保護者

4）　実施方法

いばらき電子申請システムを利用した Web 回答方式

ただし、児童養護施設に在籍する児童・生徒の回答にあっては、紙面調査票によった。

5）　周知の方法

本市に所在する小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、児童養護施設、幼稚園、保育所及び認定こども園に対し、周知・回答への協力を依頼した。

そのほか、本市ウェブサイト並びに公式 LINE 及び公式 X アカウントを利用し、オンライン上で回答を呼びかけた。

3　回収状況

アンケートの種類	回答数
未就学児（保護者）向けアンケート	56 人
小学生向けアンケート	3,910 人
中学生向けアンケート	2,211 人
高校生向けアンケート	988 人
合計	7,165 人

4　集計及び表記の方法

1) 割合は、回答数を当該設問の有効回答数で除して算出し、小数第２位を四捨五入している。ゆえに、構成比の合計が 100.0％とならない場合がある。
2) 複数回答の設問は、回答者数を母数としている。ゆえに、選択率の合計は 100％を超える。
3) 「２つまで選択」とした設問（権利に関する設問）は、選択された延べ数ではなく、当該選択肢を選んだ回答者の割合を示している。
4) 小学生向けアンケートの設問文及び選択肢にはルビを付しているが、本報告書では読みやすさを優先し、これを省略して記載している。
5) アンケートの種類ごとに設問文及び選択肢の文言が異なる。特に、小学生向けアンケートは平易な表現に改めており、中学生向け・高校生向けのアンケートと同一の設問とはいえない箇所がある。よって、学齢間の比較を行う場合は、そのつど、その旨を注記している。
6) 自由記載は原文のまま掲載することを原則とするが、個人が特定されるおそれのある記述については、該当部分を伏せ、又は表現を改めている。

第２章　回答者の属性

1　学年・年齢

未就学児（保護者）向けアンケート（こどもの年齢）	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳	計
回答数（人）	4	14	7	9	11	7	4	56
構成比（％）	7.1	25.0	12.5	16.1	19.6	12.5	7.1	100.0

注　対象となるこどもが複数いる場合は、いちばん下のこどもの年齢である。

小学生向けアンケート	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	計
回答数（人）	486	655	640	805	544	748	3,878
構成比（％）	12.5	16.9	16.5	20.8	14.0	19.3	100.0

中学生向けアンケート	１年生	２年生	３年生	計
回答数（人）	644	794	768	2,206
構成比（％）	29.2	36.0	34.8	100.0

高校生向けアンケート	1年生	2年生	3年生	4年生以上	計
回答数（人）	567	115	297	2	981
構成比（%）	57.8	11.7	30.3	0.2	100.0

注　学年の設問に回答しなかった者は、集計の母数から除いている。

2　性別

アンケートの種類	男	女	その他	答えたくない	計
未就学児（保護者）	26.8	69.6	0.0	3.6	100.0
小学生	−	−	−	−	−
中学生	−	−	−	−	−
高校生	53.4	44.3	0.6	1.7	100.0

注1　未就学児（保護者）向けアンケートの性別は、こどもではなく回答者本人の性別である。
　2　小学生向け及び中学生向けのアンケートには、性別を尋ねる設問を置いていない。

第3章　調査結果

設問は、アンケートの種類ごとに設問番号及び文言が異なる。よって、本章では内容に即して、対応関係を次表のとおり整理した上で、項目ごとに4種類のアンケートの集計結果を並べて記載している。

設問対応表

本章の項目	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
1　自己肯定感	Q2（のびのびと過ごせているか）	Q2	Q2	Q2
2　大切にされている感覚	Q3-1・Q3-2	Q3	Q3-1・Q3-2	Q3-1・Q3-2
3　将来への希望	−	−	Q4	Q4
4　地域のこどもへのまなざし	Q4	−	−	−
5　安心していられる場所	Q5	Q5	Q6	Q5
6　居場所へのニーズ	Q6	Q4	Q5	Q6
7　相談できる相手	Q7（保護者自身の相談相手）	Q6	Q7	Q7
8　大人が意見を聴いているか	Q8-1・Q8-2（保護者の実践）	Q7-1・Q7-2	Q8	Q8-1・Q8-2
9　意見の言いやすさ	Q9-1・Q9-2	Q8-1・Q8-2	Q9-1・Q9-2	Q9-1・Q9-2
10　もっと意見を聴いてほしい事項	−	Q9-1・Q9-2	Q10-1・Q10-2	Q10-1・Q10-2
11　こどもの権利の認知	Q10-1・Q10-2	Q10-1・Q10-2	Q11-1・Q11-2	Q11-1・Q11-2
12　特に大切にしてほしい権利	Q11	Q11	Q12	Q12
13　守られていないと思う権利	Q12	−	−	Q13
14　自由記載	Q13	−	Q13	Q14

1　自己肯定感

設問　未就学児（保護者）Q2「お子さんは、自分の好きなことをのびのびとできていると思いますか」／小学生 Q2「今の自分のことが好きですか」／中学生・高校生 Q2「今の自分のことが好きだと

思いますか」

（単位：%）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
未就学児（保護者）	23.2	64.3	10.7	1.8	87.5
小学生	40.6	34.2	14.9	10.3	74.8
中学生	22.2	43.8	25.2	8.8	66.0
高校生	27.4	41.6	23.2	7.7	69.0

結果　自分のことが好きかどうかについて尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は、小学生 74.8%、中学生 66.0%、高校生 69.0%であり、小学生から中学生にかけて低下し、高校生では中学生をやや上回った。未就学児については、保護者からみて自分の好きなことをのびのびとできていると評価された割合が 87.5%であった。

2　大切にされている感覚

設問　未就学児（保護者）Q3-1「お子さんは、家族や周りの大人から『大切にされている』と思いますか」／小学生 Q3「家族やまわりのおとなから『大切にされている』と思いますか」／中学生・高校生 Q3-1（同旨）／小学生向けアンケートを除き、肯定した者に対し、Q3-2 で「どんなときにそう感じますか」を自由記載で聴取

（単位：%）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
未就学児（保護者）	60.7	33.9	5.4	0.0	94.6
小学生	58.2	32.0	6.7	3.1	90.2
中学生	44.0	43.5	10.5	2.0	87.5
高校生	59.5	33.6	5.3	1.6	93.1

自由記載（Q3-2）の主な意見

・困ったときに助けてもらったとき（「助けてくれるとき」「心配してくれたとき」など）
・食事・生活の世話を通じて（「ご飯を作ってくれるとき」「送り迎えをしてくれるとき」など）
・一緒に過ごす時間があるとき（「みんなと遊ぶとき」「旅行に行ったとき」など）
・話を聞いてもらえたとき（「話を聞いてくれる」「相談に乗ってくれる」など）
・ほめられたとき・認められたとき（「褒めてもらえたとき」「人に頼られたとき」など）
・その他（「優しくしてくれる」など）

注　小学生向けアンケートには、自由記載を置いていない。

結果　周囲の大人から大切にされている感覚について尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は、未就学児（保護者）94.6%、小学生 90.2%、中学生 87.5%、高校生 93.1%であった。自由記載では、「困ったときに助けてもらったとき」に関

する記述が最も多く、「食事・生活の世話を通じて」「一緒に過ごす時間があるとき」がこれに次いだ。

3　将来への希望（中学生・高校生）

設問　中学生・高校生 Q4「あなたは、自分の将来に希望を持っていますか」

（単位：%）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
中学生	38.5	38.3	16.7	6.5	76.8
高校生	35.7	41.3	17.6	5.3	77.1

結果　将来に希望を持っているかを尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は、中学生 76.8%、高校生 77.1%であった。

4　地域のこどもへのまなざし（未就学児の保護者）

設問　未就学児（保護者）Q4「こどもの声（泣き声・遊び声）や、こども連れに対して、地域は温かいと感じますか」

（単位：%）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
未就学児（保護者）	16.1	50.0	25.0	8.9	66.1

結果　こどもの声やこども連れに対する地域の温かさについて保護者に尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は 66.1%であった。

5　安心していられる場所（複数回答）

設問　未就学児（保護者）Q5「お子さんが安心していられる場所はどこですか」／小学生 Q5「すきな場所・ほっとする場所はどこですか」／中学生 Q6・高校生 Q5「あなたが安心していられる場所はどこですか」

（単位：%）

選択肢	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
自分の部屋	−	51.8	78.9	78.6
家（親戚の家を含む）	92.9	57.9	72.7	69.8
学校（中高は部活動を含む）／幼稚園・保育所	1.8	24.8	36.0	28.0
友達の家	0.0	22.1	31.0	19.7
図書館・児童館・公園・塾・習い事等	0.0	27.9	28.2	10.3
インターネットの中（ゲーム・SNS等）／SNS・オンラインでのつながり	−	20.2	12.7	12.3
安心していられる場所はない	0.0	2.4	1.1	1.3

その他	5.4	5.9	3.1	3.2

注１　「－」は、当該アンケートに選択肢の設定がないもの。

２　小学生向け及び中学生向けのアンケートの「図書館・児童館・公園・塾・習い事等」欄は、「図書館・市民センター・公園」又は「塾・習いごと（塾・習い事）」のいずれかを選んだ回答者の割合であり、両選択肢の単純合算ではない。

３　「安心していられる場所はない」を選んだ者のうち、他の場所も併せて選択した者が小学生 27 人、中学生４人、高校生３人含まれる。

結果　安心していられる場所を尋ねたところ、最も多く選ばれたのは、小学生で「家（親戚の家を含む）」（57.9%）、中学生で「自分の部屋」（78.9%）、高校生で「自分の部屋」（78.6%）であった。「安心していられる場所はない」と回答した者は、小学生 2.4%（93 人）、中学生 1.1%（24 人）、高校生 1.3%（13 人）であった。

６　居場所へのニーズ

設問　未就学児（保護者）Q6「休日に、家と幼稚園・保育所のほかにお子さんが安心して過ごせる場所がほしいと思いますか」／小学生 Q4「ほうかごややすみのひに家や学校以外でほっとするばしょがほしいですか」／中学生 Q5・高校生 Q6（同旨）

（単位：%）

ア　小学生・中学生

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
小学生	55.9	23.0	9.9	11.2	78.9
中学生	50.0	30.4	10.7	8.9	80.4

イ　未就学児（保護者）・高校生

アンケートの種類	ほしい	どちらかといえばほしい	今のままでよい	わからない	肯定計
未就学児（保護者）	73.2	10.7	16.1	0.0	83.9
高校生	29.1	19.6	45.7	5.7	48.6

注　小学生向け及び中学生向けのアンケートは「そう思う（当てはまる）」から「そう思わない（当てはまらない）」までの４件法であり、「今のままでよい」及び「わからない」の選択肢を置いていない。このため、未就学児（保護者）向け及び高校生向けのアンケートとは表を分けて示している。

結果　放課後や休日等に家や学校以外の居場所がほしいか尋ねたところ、居場所を求める回答（小学生及び中学生にあっては「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の合計、未就学児（保護者）及び高校生にあっては「ほしい」及び「どちらかといえばほしい」の合計）の割合は、未就学児（保護者）83.9%、小学生 78.9%、中学生 80.4%、高校生 48.6%であった。

７　相談できる相手（複数回答）

設問　未就学児（保護者）Q7「悩みや困ったことがあるとき、あなたが相談できる人はいますか」（※保護者自身について聴取）／小学生 Q6「なやみやこまったことがあったとき、話せる人はいますか」／中学生・高校生 Q7（同旨）

（単位：%）

選択肢	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
家族	92.9	81.6	71.9	73.9
友達	50.0	59.1	76.7	79.5
学校（園）の先生	48.2	36.2	34.5	28.3
近所の人・地域の人	7.1	5.7	2.6	2.3
インターネットで知り合った人	10.7	3.1	7.5	6.8
市役所・子育て支援施設等の相談窓口	10.7	－	－	－
電話・LINE 等の相談窓口	1.8	4.1	4.1	3.4
誰もいない	5.4	4.2	5.3	4.4
その他	5.4	2.1	2.4	3.2

注１　「－」は、当該アンケートに選択肢の設定がないもの。

２　「誰もいない」を選んだ者のうち、他の相談相手も併せて選択した者が小学生 31 人、中学生 6 人、高校生 4 人含まれる。

結果　悩みや困ったときに相談できる相手が「誰もいない」と回答した者は、未就学児（保護者）5.4%（３人）、小学生 4.2%（160 人）、中学生 5.3%（117 人）、高校生 4.4%（43 人）であった。相談相手として公的な相談窓口（電話・LINE 等の相談窓口及び市役所等の窓口）を挙げた割合は、小学生、中学生及び高校生ではいずれも５％以下にとどまり、未就学児（保護者）でも 10.7%であった。

８　大人が意見を聴いているか

設問　未就学児（保護者）Q8-1「お子さんに関することを決めるとき、お子さんの気持ちや意見を聞くようにしていますか」（※保護者自身の実践を聴取。選択肢は「いつも聞いている」から「聞いていない」までの４段階）／小学生 Q7-1「おうちのひとや先生は、あなたのいけんやかんがえをきいてくれますか」／中学生 Q8・高校生 Q8-1「家の人や先生など周りの大人は、あなたの意見や考えを聞いてくれますか」／中学生向けアンケートを除き、Q□-2 で理由等を自由記載により聴取

（単位：%）

ア　小学生・中学生・高校生

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
小学生	58.1	27.0	11.0	3.8	85.1
中学生	57.5	36.9	4.8	0.9	94.3
高校生	58.4	33.0	7.0	1.6	91.4

イ　未就学児（保護者）

アンケートの種類	いつも聞いている	ときどき聞いている	あまり聞いていない	聞いていない	肯定計
未就学児（保護者）	46.4	42.9	3.6	7.1	89.3

注　未就学児（保護者）向けアンケートは保護者自身の実践を尋ねるもので、設問の趣旨及び選択肢が異なるため、表を分けて示している。

自由記載の主な内容

・日常的に話や意見を聴いてもらえている
・悩みを話したとき
・学校、園での出来事について
・買物・食事など日常の選択のとき
・進路、習い事など将来に関することを決めるとき
・家庭内のきまり、生活のことを決めるとき

結果　周囲の大人が自分の意見や考えを聞いてくれるか尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は、小学生 85.1%、中学生 94.3%、高校生 91.4%であった。未就学児（保護者）では、お子さんの気持ちや意見を「いつも聞いている」又は「ときどき聞いている」とした割合が 89.3%であった。

9　意見の言いやすさ

設問　未就学児（保護者）Q9-1「家や園で、お子さんは自分の考えや意見を言いやすいと思いますか」／小学生 Q8-1「家や学校で、考えや意見をいいやすいですか」／中学生・高校生 Q9-1（同旨）／いずれも Q□-2 で理由を自由記載により聴取

（単位：%）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計
未就学児（保護者）	39.3	51.8	5.4	3.6	91.1
小学生	46.5	38.4	8.8	6.3	84.9
中学生	42.4	43.1	10.4	4.1	85.4
高校生	43.8	44.5	9.6	2.1	88.3

自由記載の主な内容

・周囲の反応が気になるから
・否定される、怒られると思うから
・うまく言葉にできないから
・言っても変わらないから

結果　自分の意見を言いやすいか尋ねたところ、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定」の割合は、小学生 84.9%、中学生 85.4%、高校生 88.3%であった。未就学児（保護者）では、お子さんが考えを言いやすいと保護者が認識している割合が 91.1%であった。意見を言いやすいと思わない理由として最も多いのは「周囲の反応が気になるから」であり、「否定される・怒られると思うから」、「うまく言葉にできないから」がこれに次いだ。

10　もっと意見を聴いてほしい事項（小学生・中学生・高校生）

設問　小学生 Q9-1・Q9-2／中学生・高校生 Q10-1・Q10-2。「もっとこども（学生）の意見を聞いてほしいと思うことがありますか」に「ある」と答えた者に、該当する事項を複数回答により聴取

（単位：%）

アンケートの種類	ある	ない
小学生	64.9	35.1
中学生	33.3	66.7
高校生	41.3	58.7

注　小学生向け及び中学生向けのアンケートは「ある」「ない」の二肢ではなく４件法である。「ある」欄は肯定２区分、「ない」欄は否定２区分の合計である。

（単位：%）

意見を聞いてほしい内容 （「ある」と回答した者を母数とする。）	小学生	中学生	高校生
自分のやりたいことや将来のこと	62.2	67.6	52.0
家での約束やルールのこと	28.8	42.6	24.1
学校のこと	33.1	40.2	66.4
住んでいる地域のこと（公園・遊び場等）	−	2.9	15.9
市のこと（遊び場やイベント、まちづくり等）	12.1	3.9	14.2
その他	7.6	4.7	4.2

注　小学生向けアンケートは「住んでいる地域のこと」及び「市のこと」を「まちのこと」としてまとめている。

結果　もっと意見を聞いてほしいと思うことがあるかどうかを尋ねたところ、「ある」と回答した割合は、小学生 64.9%、中学生 33.3%、高校生 41.3%であった。内容別では、小学生及び中学生で「自分のやりたいことや将来のこと」、高校生で「学校のこと」が最も多かった。

11　こどもの権利の認知

設問　未就学児（保護者）Q10-1／小学生 Q10-1／中学生・高校生 Q11-1「『こどもの権利』という言葉を聞いたことがありますか」／聞いたことがある者に、知ったきっかけを複数回答により聴取

（単位：%）

ア　小学生・中学生

アンケートの種類	聞いたことがある	聞いたことはない
小学生	34.5	65.5
中学生	36.1	63.9

イ　未就学児（保護者）・高校生

アンケートの種類	詳しく知っている	知っている	聞いたことはある	聞いたことはない	肯定計
未就学児（保護者）	0.0	35.7	44.6	19.6	35.7
高校生	4.7	21.1	42.8	31.4	25.8

注　小学生向けアンケートは「聞いたことがある」「聞いたことはない」の２件法、中学生向けアンケートは「当てはまる」から「当てはまらない」までの４件法であり、いずれも「詳しく知っている」及び「知っている」に対応する選択肢を置いていないため、表を分けて示している。

（単位：%）

知ったきっかけ	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
家族	2.2	39.7	11.7	6.1
友達	0.0	13.5	5.0	2.2
学校	26.7	41.1	59.9	69.4
テレビ・新聞	51.1	27.7	29.6	26.4
インターネット（SNS を含む）	51.1	22.1	33.3	27.3
その他	11.1	8.3	4.8	1.8

結果　こどもの権利という言葉について知っているかを尋ねたところ、聞いたことがあると答えたのは小学生 34.5%、中学生 36.1%であった。知ったきっかけとしては、小学生及び中学生ともに「学校」が最多であり、小学生では「家族」が、中学生では「インターネット（SNS を含む）」がこれに続いた。

未就学児（保護者）及び高校生では、こどもの権利について、「詳しく知っている」及び「知っている」を合わせた割合は、未就学児（保護者）35.7%、高校生 25.8%であった。知ったきっかけとしては、未就学児（保護者）では「テレビ・新聞」及び「インターネット（SNS を含む）」が同率で最多であり、高校生では「学校」が最多であった。

12　特に大切にしてほしい権利（２つまで選択）

設問　未就学児（保護者）Q11／小学生 Q11／中学生・高校生 Q12

（単位：%）

権利（６類型）	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
だれもが差別されず、同じように大切にされること	25.0	51.7	60.5	48.9
安心して生き、健やかに成長できること	69.6	39.9	38.0	40.4
自分に関することについて、自分の意見を言えること	12.5	10.3	12.5	16.1
こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること	25.0	11.1	26.5	30.4
家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること	25.0	24.7	18.7	17.5
安心して過ごせるまちであること	32.1	35.1	25.7	20.9

注　小学生向けアンケートは平易な表現に改めているため、文言が上表と異なる。

結果　特に大切にしてほしい権利として、最も多く選ばれたのは、未就学児（保護者）では「安心して生き、健やかに成長できること」（69.6%）、小学生、中学生及び高校生ではいずれも「だれもが差別されず、同じように大切にされること」（小学生 51.7%、中学生 60.5%、高校生 48.9%）であった。

13　守られていないと思う権利（２つまで選択）

設問　未就学児（保護者）Q12／小学生（設問なし）／中学生（設問なし）／高校生 Q13

（単位：%）

権利（６類型）	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
だれもが差別されず、同じように大切にされること	25.0	－	－	30.5
安心して生き、健やかに成長できること	8.9	－	－	6.9
自分に関することについて、自分の意見を言えること	3.6	－	－	13.3
こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること	25.0	－	－	22.5
家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること	28.6	－	－	8.4
安心して過ごせるまちであること	44.6	－	－	12.3
特にない	23.2	－	－	40.6

注１　小学生向け及び中学生向けのアンケートにはこの設問を置いていない。

注２　「特にない」を選んだ高校生 391 人のうち 15 人は、他の権利も併せて選択している。

結果　守られていないと思う権利を尋ねたところ、「特にない」との回答を除いて、未就学児（保護者）では「安心して過ごせるまちであること」（44.6%）が１位、「家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること」（28.6%）が２位であった。高校生では、「だれもが差別されず、同じように大切にされること」（30.5%）が１位、「こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること」（22.5%）が２位となった。

14　自由記載

設問　未就学児（保護者）Q13「こどもを中心としたまちづくりに関する条例に期待することや市の取組について『こうしてほしい』『こうしてほしくない』と思うことがあれば、自由に書いてください」／小学生（設問なし）／中学生 Q13・高校生 Q14「家の人、地域の人、学校の先生、働いている人に『こうしてほしい』『こうしてほしくない』と思うことがあれば、自由に書いてください」

自由記載の主な内容

・大人の接し方に関すること（叱り方等）
・遊び場、居場所を増やしてほしい
・意見を聴いてほしい、尊重してほしい
・学校、園に関すること
・安全、防犯、交通に関すること
・人間関係に関すること
・経済的支援、保育サービスに関すること

注１　小学生向けアンケートにはこの設問を置いていない。

２　自由記載欄への記入は未就学児（保護者）27 件、中学生 346 件、高校生 121 件であるが、うち「特にない」等、内容を伴わない記述（中学生 185 件、高校生 65 件）も含まれる。

結果　自由記載欄への記入は、未就学児（保護者）27 件、中学生 346 件、高校生 121 件である。このうち「特にない」等、内容を伴わないものを除くと、未就学児（保護者）27 件、中学生 161 件、高校生 56 件となる。

中学生・高校生で最も多いのは「大人の接し方に関すること」（中学生 50 件、高校生 12 件）であり、内容を伴う記述のうち中学生で約 3 割、高校生で約 2 割を占める。怒り方、決めつけ、他者との比較、こども扱いに関する記述が中心である。

これに対し、未就学児（保護者）では「遊び場・居場所を増やしてほしい」12 件、「経済的支援・保育サービスに関すること」7 件、「安全・防犯・交通に関すること」5 件と、施設及び支援に関する要望が大半を占める。

第 4 章　調査結果のまとめ

本章は、前章の各項目を、条例の内容検討のために再編したものである。個々の数値は前章に譲り、ここでは条例案の策定に当たって検討すべき点を掲げる。

1) **自己肯定感は主に小学生の時期に低下し、中学生以降はおおむね横ばいである。**項目 1 の肯定割合は、小学校第 1 学年 89.2%から第 6 学年 63.0%まで低下する一方、中学校第 1 学年から高等学校第 3 学年までは 62.5%から 73.5%の範囲で上下するにとどまり、低下の傾向はみられない。【項目 No. 1】
2) **こどもが「大切にされている」と感じる契機として、「意見を聴かれること」よりも、「世話をされること」「助けられること」「いっしょに時間を過ごすこと」などと回答した割合の方が高かった。**どんなときに大切にされていると感じるかの自由記載では、「困ったときに助けてもらったとき」「食事・生活の世話を通じて」「一緒に過ごす時間があるとき」に関する記述が上位を占め、「話を聞いてもらえたとき」はこれらに次ぐ第 4 位である。【項目 No. 2】
3) **こどもに対して、地域の反応が「温かい」と感じる保護者が 6 割を超える一方で、そうではないと感じる保護者も 3 割程度存在する。**特に、自由記載においては、「こども連れでも公共施設やお店で気兼ねなく過ごせる空間を、まち全体でつくってほしい」との声が寄せられるなど、こども連れであることによる公共の場での周囲への気兼ねが伺える。

   こどもの視点からは、困ったときの相談相手に、近隣住民を挙げた割合は 10%未満と低く、地域との関係性の希薄化が見られる。【項目 No. 4 、 7】
4) **家庭にも学校にも地域にも安心できる場を持たないこどもが 95 人（1.3%）、相談できる相手が誰もいないこどもが 277 人（3.9%）存在する。**【項目 No. 5 ・ 7】
5) **未就学児の保護者、小学生及び中学生では、家庭及び学校以外の居場所を求める割合が約 8 割を占める。**休日や放課後などに居場所を求める回答の割合は、未就学児（保護者）83.9%、小学生 78.9%、中学生 80.4%となっている。対して、高校生は 48.6%であり、「今のままでよい」45.7%と拮抗する。【項目 No. 6】
6) **相談先として公的な窓口はほとんど想起されていない。**項目 7 において電話・LINE 等の相談窓口を挙げた割合は、小学生・中学生・高校生のいずれも 5 %未満である。未就学児（保護者）において市役所等の窓口を挙げた割合も 10.7%にとどまる。【項目 No. 7】

7) **大人が意見を聴いてくれると感じていても、こどもが意見を言いやすいとは限らず、その差は中学生で最も大きい。**「大人が意見を聞いているか」の質問に対する肯定の割合と、「こどもが意見を言いやすいか」の質問に対する肯定の割合の差は、中学生 8.9 ポイント（94.3%／85.4%）である。高校生は 3.1 ポイント、小学生は 0.2 ポイントにとどまり、未就学児（保護者）では逆に、こどもが意見を言いやすいと保護者が考えている割合が 1.8 ポイント上回る。【項目 No.８・９】

8) **意見を述べたい事柄は学齢によって異なり、市政に関する事項はいずれの学齢でも低位にとどまる。**こどもが意見を聞いてほしい事項において最も多く選ばれたのは、小学生及び中学生では「自分のやりたいことや将来のこと」（62.2％・67.6％）、高校生では「学校のこと」（66.4%）である。市に関する事項は 3.9%から 14.2%にとどまる。【項目 No.10】

9) **こどもは、周囲の大人に対して、自分のやりたいことや挑戦について、失敗も含めて応援してもらうことを求めている。**小中学生の 6 割以上、高校生の 5 割以上が自身のやりたいことや将来について「もっと意見を聞いてほしい」と望んでおり、中学生及び高校生の約 8 割が将来に希望を抱いている。一方で、自由記載では、「挑戦しているときに叱るのではなく、褒めたりアドバイスをしたりしてほしい」など、自身の挑戦に対して、大人からは否定的な言動ではなく、前向きな助言や肯定的な姿勢を求める声が寄せられている。【項目 No.10】

10) **「こどもの権利」は、内容の理解の不在にとどまらず、言葉としても十分に浸透していない。知ったきっかけは学校に集中している。**項目 11 において「詳しく知っている」「知っている」の合計は未就学児（保護者）35.7%、高校生 25.8%である。知ったきっかけとして「学校」を挙げた割合は、中学生 59.9%、高校生 69.4%である。【項目 No.11】

11) **意見を尊重されることを望む傾向は、学齢が上がるにつれて強まる。**項目 12 において「こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること」を選んだ割合は、小学生 11.1%、中学生 26.5%、高校生 30.2%である。【項目 No.12】

12) **こどもは差別されない扱いを、保護者は健やかな成長を、それぞれ第一に求めている。**項目 12 の最多は、未就学児（保護者）では「安心して生き、健やかに成長できること」（69.6%）、小学生・中学生・高校生ではいずれも「だれもが差別されず、同じように大切にされること」（小学生 51.7%、中学生 60.5%、高校生 48.9%）である。【項目 No.12】

資料編

Ⅰ　アンケート調査票

(1) 未就学児の保護者向けアンケート調査票

Ｑ１－１．お子さんの年齢を選んでください。
※きょうだいがいる場合は、いちばん下のお子さんの年齢を選んでください。［単一選択］
□ ０歳　□ １歳　□ ２歳　□ ３歳　□ ４歳　□ ５歳　□ ６歳

Ｑ１－２．回答する方の性別を選んでください。［単一選択］
□ 男　□ 女　□ その他　□ 答えたくない

Ｑ２．お子さんは、自分の好きなことをのびのびとできていると思いますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Ｑ３－１．お子さんは、家族や周りの大人から「大切にされている」と思いますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Ｑ３－２．どんなときに、そう感じますか。［自由記述］

Ｑ４．こどもの声（泣き声・遊び声）や、こども連れに対して、地域は温かいと感じますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Ｑ５．お子さんが安心していられる場所はどこですか。［複数選択可］
□ 家（親戚の家を含む）　□ 幼稚園・保育所　□ 友達の家
□ 図書館・児童館・公園・習い事　□ 安心していられる場所はない
□ その他（具体的に：　　）

Ｑ６．休日に、家と幼稚園・保育所のほかにお子さんが安心して過ごせる場所がほしいと思いますか。［単一選択］
□ ほしい　□ どちらかといえばほしい　□ 今のままでよい　□ わからない

Ｑ７．悩みや困ったことがあるとき、あなたが相談できる人はいますか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 園の先生　□ 地域の人　□ インターネット上の人
□ 市役所や子育て支援施設などの相談窓口　□ 電話・LINE 等の相談窓口（非対面）

□ 誰もいない　□ その他（具体的に：　　）

Q８－１．お子さんに関することを決めるとき、お子さんの気持ちや意見を聞くようにしていますか。［単一選択］
□ いつも聞いている　□ ときどき聞いている　□ あまり聞いていない　□ 聞いていない

Q８－２．何を決めるときにどんな意見を聞いていますか。［自由記述］

Q９－１．家や園で、お子さんは自分の考えや意見を言いやすいと思いますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q９－２．そう思うのは、なぜですか。［自由記述］

Q10－１．あなたは「こどもの権利」という言葉を聞いたことがありますか。［単一選択］
□ 詳しく知っている　□ 知っている　□ 聞いたことはある　□ 聞いたことはない

Q10－２．その言葉を、どこで知りましたか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 学校　□ テレビ・新聞　□ インターネット
□ その他（具体的に：　　）

Q11. 次の６つのこどもの権利のなかで、あなたが特に大切にしてほしいと思うものはどれですか。［複数選択：２つまで］
□ だれもが差別されず、同じように大切にされること
□ 安心して生き、健やかに成長できること
□ 自分に関することについて、自分の意見を言えること
□ こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること
□ 家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること
□ 安心して過ごせるまちであること

Q12. 次の６つのこどもの権利のなかで、あなたが「守られていない」と思うものはありますか。［複数選択：２つまで］
□ だれもが差別されず、同じように大切にされること
□ 安心して生き、健やかに成長できること
□ 自分に関することについて、自分の意見を言えること
□ こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること
□ 家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること
□ 安心して過ごせるまちであること
□ 特にない

Q13. 自由記載 ［自由記述］

こどもを中心としたまちづくりに関する条例に期待することや市の取組について「こうしてほしい」「こうしてほしくない」と思うことがあれば、自由に書いてください。

⑵ 小学生向けアンケート調査票

Q１．あなたは何年生(なんねんせい)ですか。［単一選択］

□ １年生(ねんせい)　□ ２年生(ねんせい)　□ ３年生(ねんせい)
□ ４年生(ねんせい)　□ ５年生(ねんせい)　□ ６年生(ねんせい)

Q２．あなたは、自分(じぶん)のことが好きですか。［単一選択］

□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う
□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q３．まわりのおとなから「大切(たいせつ)にされている」と思(おも)いますか。［単一選択］

□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う
□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q４．ほうかごややすみのひにほっとするばしょがほしいですか。［単一選択］

□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う
□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q５．すきな場所(ばしょ)・ほっとする場所(ばしょ)はどこですか。［複数選択可］

□ 自分(じぶん)の部屋(へや)　□ 家(いえ)（親(しん)せきの家(いえ)もふくむ）
□ 学校(がっこう)　□ 友(とも)だちの家(いえ)
□ 図書館(としょかん)・市民(しみん)センター・公園(こうえん)
□ 塾(じゅく)・習(なら)いごと　□ インターネットの中(なか)（ゲーム・SNS など）
□ その他(ほか)の場所(ばしょ)（具体的に：　　）
□ すきな場所(ばしょ)・ほっとする場所(ばしょ)はない

Q６．なやみやこまったことがあったとき、話(はな)せる人(ひと)はだれですか。［複数選択可］

□ 家族(かぞく)　□ 友(とも)だち　□ 学校(がっこう)の先生(せんせい)
□ 近所(きんじょ)の人(ひと)　□ インターネットで知(し)り合(あ)った人(ひと)
□ 電話(でんわ)や LINE などの相談(そうだん)まどぐち
□ その他(ほか)のひと（具体的に：　　）
□ だれもいない

Q７－１．まわりのおとなは、あなたのいけんやかんがえをきいてくれますか。［単一選択］

□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う

□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q７－２．どんなときに、そう思(おも)いましたか。［自由記述］

Q８－１．まわりのおとなに、考(かんが)えや意見(いけん)をいえますか。［単一選択］
□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う
□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q８－２．どうして、そう思(おも)いますか。［自由記述］

Q９－１．「もっとじぶんの意見(いけん)を聞(き)いてほしい」と思(おも)うことはありますか。［単一選択］
□ そう思(おも)う　□ どちらかといえばそう思(おも)う
□ どちらかといえばそう思(おも)わない　□ そう思(おも)わない

Q９－２．［Q9-1 で回答した内容に応じて分岐］それは、どんなことですか。［複数選択可］
□ 自分(じぶん)のやりたいことや、しょうらいのこと
□ 家(いえ)のやくそくやルールのこと
□ 学校(がっこう)のこと
□ みとのまちのこと（公園(こうえん)や遊び場(あそびば)やイベントの実施(じっし)など）
□ その他(ほか)（具体的に：　　）

Q10－１．「こどもの権利(けんり)」という言葉(ことば)を聞(き)いたことがありますか。［単一選択］
□ 聞(き)いたことがある
□ 聞(き)いたことはない

Q10－２．その言葉(ことば)を、どこで知(し)りましたか。［複数選択可］
□ 家族(かぞく)　□ 友(とも)だち　□ 学校(がっこう)
□ テレビ・新聞(しんぶん)　□ インターネット（SNS を含む）
□ その他(ほか)（具体的に：　　）

Q11．とくに大切(たいせつ)にしてほしいと思(おも)う権利(けんり)はどれですか。［複数選択：２つまで］
□ みんなが同(おな)じように大切(たいせつ)にされること
□ 元気(げんき)に生(い)きて、大(おお)きくなれること
□ 自分(じぶん)のことについて、思(おも)っていることを言(い)えること
□ 言(い)ったことを、おとながちゃんと聞(き)いて、大切(たいせつ)にしてくれること
□ おうちの人(ひと)に大切(たいせつ)にしてもらえること
□ 安心(あんしん)してすごせるまちであること

⑶ 中学生向けアンケート調査票

Q１．学年を選んでください。［単一選択］
□ １年生　□ ２年生　□ ３年生

Q２．あなたは、自分のことが好きですか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q３－１．あなたは、周りの大人から「大切にされている」と思いますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q３－２．どんなときに、そう感じますか。［自由記述］

Q４．あなたは、将来に夢や希望を持っていますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q５．放課後や休日に、安心して過ごせる場所がほしいと思いますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q６．あなたが安心していられる場所はどこですか。［複数選択可］
□ 自分の部屋　□ 家（親戚の家を含む）　□ 学校（部活動を含む）　□ 友達の家
□ 図書館・市民センター・公園　□ 塾・習い事　□ SNS・オンラインでのつながり
□ その他の場所（具体的に：　　）
□ 安心していられる場所はない

Q７．悩みや困ったことがあるとき、話せる人は誰ですか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 学校の先生　□ 地域の人　□ インターネット上の人
□ 電話・LINE 等の相談窓口　□ その他の人（具体的に：　　）
□ 誰もいない

Q８．周りの大人は、あなたの意見や考えを聞いてくれますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q９－１．周りの大人に、自分の考えや意見を言えますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる

□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q９－２．そう思うのは、なぜですか。［自由記述］

Q10－１．「もっと自分の意見を聞いてほしい」と思うことがありますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q10－２．それは、どんなことですか。［複数選択可］
□ 自分のやりたいことや将来のこと　□ 家での約束やルールのこと
□ 学校のこと　□ 住んでいる地域のこと
□ みとのまちのこと（市の遊び場やイベント、まちづくりなど）
□ その他（具体的に：　　）

Q11－１．あなたは「こどもの権利」という言葉を聞いたことがありますか。［単一選択］
□ 当てはまる　□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない　□ 当てはまらない

Q11－２．その言葉を、どこで知りましたか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 学校　□ テレビ・新聞　□ インターネット（SNS を含む）
□ その他（具体的に：　　）

Q12. 次の６つのこどもの権利のなかで、あなたが特に大切にしてほしいと思うものはどれですか。［複数選択：２つまで］
□ だれもが差別されず、同じように大切にされること
□ 安心して生き、健やかに成長できること
□ 自分に関することについて、自分の意見を言えること
□ こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること
□ 家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること
□ 安心して過ごせるまちであること

Q13. 自由記載 ［自由記述］
家の人、地域の人、学校の先生など周りの大人に「こうしてほしい」「こうしてほしくない」と思うことがあれば、自由に書いてください。

⑷ 高校生向けアンケート調査票

Q１－１．学年を選んでください。［単一選択］
□ １年生　□ ２年生　□ ３年生　□ ４年生以上（専攻科など）

Q１－２．性別を選んでください。［単一選択］
□ 男　□ 女　□ その他　□ 答えたくない

Q２．あなたは、今の自分のことが好きだと思いますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q３－１．あなたは、家族や周りの大人から「大切にされている」と思いますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q３－２．どんなときに、そう感じますか。［自由記述］

Q４．あなたは、自分の将来に希望を持っていますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q５．あなたが安心していられる場所はどこですか。［複数選択可］
□ 自分の部屋　□ 家（親戚の家を含む）　□ 学校　□ 友達の家
□ 図書館・児童館・公園・塾・習い事・部活動以外の活動
□ SNS・オンラインでのつながり　□ 安心していられる場所はない
□ その他（具体的に：　　）

Q６．放課後や休日に、家と学校のほかに安心して過ごせる場所がほしいと思いますか。［単一選択］
□ ほしい　□ どちらかといえばほしい
□ 今のままでよい　□ わからない

Q７．悩みや困ったことがあるとき、話せる人はいますか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 学校の先生　□ 地域の人　□ インターネット上の人
□ 電話・LINE 等の相談窓口　□ 誰もいない
□ その他（具体的に：　　）

Q８－１．家の人や先生など周りの大人は、あなたの意見や考えを聞いてくれますか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q８－２．どんなときに、そう思いましたか。［自由記述］

Q９－１．家や学校で、自分の考えや意見を言いやすいですか。［単一選択］
□ そう思う　□ どちらかといえばそう思う
□ どちらかといえばそう思わない　□ そう思わない

Q９－２．そう思うのは、なぜですか。［自由記述］

Q10－１．「もっと学生の意見を聞いてほしい」と思うことがありますか。［単一選択］
□ ある　□ ない

Q10－２．それは、どんなことですか。［複数選択可］
□ 自分のやりたいことや将来のこと　□ 家での約束やルールのこと
□ 学校のこと　□ 住んでいる地域のこと
□ 市のこと（市の施設やイベント、まちづくりなど）
□ その他（具体的に：　　）

Q11－１．あなたは「こどもの権利」という言葉を聞いたことがありますか。［単一選択］
□ 詳しく知っている　□ 知っている
□ 聞いたことはある　□ 聞いたことはない

Q11－２．その言葉を、どこで知りましたか。［複数選択可］
□ 家族　□ 友達　□ 学校　□ テレビ・新聞
□ インターネット　□ その他（具体的に：　　）

Q12. 次の６つのこどもの権利のなかで、あなたが特に大切にしてほしいと思うものはどれですか。
［複数選択：２つまで］
□ だれもが差別されず、同じように大切にされること
□ 安心して生き、健やかに成長できること
□ 自分に関することについて、自分の意見を言えること
□ こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること
□ 家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること
□ 安心して過ごせるまちであること

Q13. 次の６つのこどもの権利のなかで、あなたが「守られていない」と思うものはありますか。
［複数選択：２つまで］
□ だれもが差別されず、同じように大切にされること
□ 安心して生き、健やかに成長できること
□ 自分に関することについて、自分の意見を言えること
□ こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること
□ 家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること

□ 安心して過ごせるまちであること
□ 特にない

Q14. 自由記載 ［自由記述］
家の人、地域の人、学校の先生、働いている人に「こうしてほしい」「こうしてほしくない」と思うことがあれば、自由に書いてください。

Ⅱ　集計表

この集計表は、本編で割合（%）により示した結果について、回答数（実数）をまとめたものである。割合の母数は、単一回答の表では「計」（有効回答数であり、無回答を除く。）、複数回答の表では「回答者数」（当該設問に１つ以上回答した者の数）である。Web 回答のほか、児童養護施設に在籍する児童・生徒が紙面調査票により回答したものを含む。

(1) 回収状況

（単位：人）

アンケートの種類	Web 回答	紙面調査票	計
未就学児（保護者）向けアンケート	56	－	56
小学生向けアンケート	3,908	2	3,910
中学生向けアンケート	2,209	2	2,211
高校生向けアンケート	973	15	988
合計	7,147	19	7,165

(2) 回答者の属性

1　学年・年齢

（単位：人）

未就学児（保護者）向けアンケート（こどもの年齢）	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	計
回答数（人）	4	14	7	9	11	7	4	56

注　対象となるこどもが複数いる場合は、いちばん下のこどもの年齢である。

小学生向けアンケート	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
回答数（人）	486	655	640	805	544	748	3,878

中学生向けアンケート	1 年生	2 年生	3 年生	計
回答数（人）	644	794	768	2,206

高校生向けアンケート	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生以上	計
回答数（人）	567	115	297	2	981

注　学年の設問に回答しなかった者は、集計の母数から除いている。

2　性別

（単位：人）

アンケートの種類	男	女	その他	答えたくない	計
未就学児（保護者）	15	39	0	2	56
小学生	－	－	－	－	－
中学生	－	－	－	－	－
高校生	526	436	6	17	985

注１　未就学児（保護者）向けアンケートの性別は、こどもではなく回答者本人の性別である。

2　小学生向け及び中学生向けのアンケートには、性別を尋ねる設問を置いていない。

(3) 調査結果

1　自己肯定感

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	13	36	6	1	49	56
小学生	1,563	1,319	575	396	2,882	3,853
中学生	485	959	552	193	1,444	2,189
高校生	269	409	228	76	678	982

2　大切にされている感覚

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	34	19	3	0	53	56
小学生	2,247	1,234	260	118	3,481	3,859
中学生	964	953	231	43	1,917	2,191
高校生	585	331	52	16	916	984

3　将来への希望（中学生・高校生）

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
中学生	848	845	367	144	1,693	2,204
高校生	351	406	173	52	757	982

4　地域のこどもへのまなざし（未就学児の保護者）

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	9	28	14	5	37	56

5　安心していられる場所（複数回答）

（単位：人）

選択肢	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
自分の部屋	－	2,005	1,735	773
家（親戚の家を含む）	52	2,241	1,600	687

選択肢	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
学校（中高は部活動を含む）／幼稚園・保育所	1	961	792	276
友達の家	0	854	683	194
図書館・児童館・公園・塾・習い事等	0	1,079	621	101
インターネットの中（ゲーム・SNS 等）／SNS・オンラインでのつながり	－	780	279	121
安心していられる場所はない	0	93	24	13
その他	3	229	69	31
回答者数	56	3,870	2,200	984

注　「－」は、当該アンケートに選択肢の設定がないもの。

6　居場所へのニーズ

ア　小学生・中学生

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
小学生	2,160	890	382	432	3,050	3,864
中学生	1,095	665	235	194	1,760	2,189

イ　未就学児（保護者）・高校生

（単位：人）

アンケートの種類	ほしい	どちらかといえばほしい	今のままでよい	わからない	「ほしい」計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	41	6	9	0	47	56
高校生	285	192	448	56	477	981

7　相談できる相手（複数回答）

（単位：人）

選択肢	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
家族	52	3,144	1,577	726
友達	28	2,276	1,683	781
学校（園）の先生	27	1,397	757	278
近所の人・地域の人	4	218	56	23
インターネットで知り合った人	6	118	165	67
市役所・子育て支援施設等の相談窓口	6	－	－	－
電話・LINE 等の相談窓口	1	157	89	33
誰もいない	3	160	117	43
その他	3	81	53	31
回答者数	56	3,854	2,193	982

注　「－」は、当該アンケートに選択肢の設定がないもの。

8　大人が意見を聴いているか

ア　小学生・中学生・高校生

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
小学生	2,236	1,038	425	148	3,274	3,847
中学生	1,260	808	105	19	2,068	2,192
高校生	574	324	69	16	898	983

イ　未就学児（保護者）

（単位：人）

アンケートの種類	いつも聞いている	ときどき聞いている	あまり聞いていない	聞いていない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	26	24	2	4	50	56

9　意見の言いやすさ

（単位：人）

アンケートの種類	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	22	29	3	2	51	56
小学生	1,777	1,468	337	239	3,245	3,821
中学生	931	947	229	91	1,878	2,198
高校生	431	437	94	21	868	983

10　もっと意見を聴いてほしい事項（小学生・中学生・高校生）

（単位：人）

アンケートの種類	ある	ない	計（有効回答数）
小学生	2,491	1,347	3,838
中学生	731	1,466	2,197
高校生	406	577	983

「ある」と回答した者が意見を聴いてほしい事項（複数回答）

（単位：人）

事項	小学生	中学生	高校生
自分のやりたいことや将来のこと	1,313	484	209
家での約束やルールのこと	608	305	97
学校のこと	699	288	267
住んでいる地域のこと（公園・遊び場等）	－	21	64
市のこと（遊び場やイベント、まちづくり等）	255	28	57
その他	160	34	17
回答者数	2,111	716	402

注　小学生向けアンケートは「住んでいる地域のこと」及び「市のこと」を「まちのこと」としてまとめており、

「市のこと」欄に計上している。

11　こどもの権利の認知

ア　小学生・中学生

（単位：人）

アンケートの種類	聞いたことがある	聞いたことはない	計（有効回答数）
小学生	1,320	2,508	3,828
中学生	795	1,407	2,202

イ　未就学児（保護者）・高校生

（単位：人）

アンケートの種類	詳しく知っている	知っている	聞いたことはある	聞いたことはない	肯定計	計（有効回答数）
未就学児（保護者）	0	20	25	11	20	56
高校生	46	208	421	309	254	984

知ったきっかけ（複数回答）

（単位：人）

知ったきっかけ	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
家族	1	529	93	41
友達	0	180	40	15
学校	12	548	475	468
テレビ・新聞	23	369	235	178
インターネット（SNS を含む）	23	294	264	184
その他	5	110	38	12
回答者数	45	1,333	793	674

12　特に大切にしてほしい権利（２つまで選択）

（単位：人）

権利（６類型）	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
だれもが差別されず、同じように大切にされること	14	1,952	1,321	481
安心して生き、健やかに成長できること	39	1,505	829	397
自分に関することについて、自分の意見を言えること	7	390	272	158
こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること	14	420	579	299
家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること	14	931	409	172
安心して過ごせるまちであること	18	1,324	562	205
回答者数	56	3,776	2,183	983

注　小学生向けアンケートは平易な表現に改めているため、文言が上表と異なる。

13　守られていないと思う権利（２つまで選択）

（単位：人）

権利（６類型）	未就学児（保護者）	小学生	中学生	高校生
だれもが差別されず、同じように大切にされること	14	－	－	299
安心して生き、健やかに成長できること	5	－	－	68
自分に関することについて、自分の意見を言えること	2	－	－	130
こどもの意見を大人がきちんと聞き、尊重してくれること	14	－	－	220
家庭が大切にされ、社会が家庭を支えてくれること	16	－	－	82
安心して過ごせるまちであること	25	－	－	120
特にない	13	－	－	397
回答者数	56	－	－	979

注　小学生向け及び中学生向けのアンケートにはこの設問を置いていない。